

個別施策

G4-1 芸術文化に触れる機会を創出します

G4-2 市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図ります

ア 施策の目的

市民が、芸術文化に親しみ、心豊かに生活している。

イ 基本施策の評価

D d 目標を達成しておらず、目標達成に向けた課題の克服などが遅れている

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
芸術文化を鑑賞する市民の割合	45.6% (26年度)	↑ 目標値	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5
		↑ 実績値	53.3	54.2	53.7	51.2	42.5	41.6
		↑ 達成率	107.7%	109.5%	108.5%	103.4%	85.9%	84.0%
芸術文化活動を行う市民の割合	15.1% (26年度)	↑ 目標値	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9
		↑ 実績値	14.4	19.8	18.3	18.6	19.5	18.7
		↑ 達成率	76.2%	104.8%	96.8%	98.4%	103.2%	98.9%

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

- (1) 新たな文化施設の整備について、利用者の声や、多くの市民の声を取り入れたり、長崎らしさを反映できるよう取り組んでほしい。
- (2) コロナ禍においてもオンライン配信等の活用により、文化振興の取組みは頑張っていると思うが、市民意識調査の結果、芸術文化への市民の意識が希薄化しており、長崎市の将来が不安なので、特に子どもたちへの取組みを重点化していただき、五次総では、芸術文化の発展にさらに尽力してほしいと要望する。